

SPRAYPACK 18V

操作説明書

JA

警告！

スプレーによりケガをするおそれがあります。
エアレス機器は、極めて高いスプレー圧力を発生させます。



1

指、手、または身体の他の部分がスプレージェットに絶対に触れないようにしてください。

スプレーガンは絶対に自分自身や人、動物に向けないでください。

スプレージェット接触保護具なしでスプレーガンを絶対に使用しないでください。

飛沫によるケガを無害な切り傷として扱わないでください。ケガ。コーティング剤や溶剤によって皮膚を傷つけた場合は、直ちに医師の診察を受け、迅速かつ専門的な治療を受けてください。使用したコーティング剤や溶剤について医師に伝えてください。

2

作動させる前に毎回、取扱説明書に従って次の点に注意してください。

- 欠陥のある機器は使用できません。
- トリガーガードの安全レバーでスプレーガンをロックします。
- 溶剤を含む材料を使用する場合、本機を接地する必要があります。
- 高圧ホースおよびスプレーガンの許容使用圧力を確認してください。
- すべての接続部分を漏れがないか確認してください。

3

機器の定期的な洗浄とメンテナンスに関する指示を厳密に遵守してください。

機器で作業を行う前と作業の中止時には毎回必ず次の規則に従ってください。

- スプレーガンと高圧ホースの圧力を抜きます。
- トリガーガードの安全レバーでスプレーガンをロックします。
- 本機のスイッチをオフにしてください。

安全に注意してください！

WAGNERのエアレス高圧スプレー機器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機を初めてご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みになり、安全に関する指示書に従ってください。本取扱説明書および安全に関する指示書は大切に保管してください。

ご購入いただいた高品質の製品が正常に機能するためには、入念なメンテナンスとケアが必要になります。

重要! 使用後は必ず本機を洗浄してください。

機器の洗浄を怠ると、故障の原因となります。汚れによるエラーについては保証できません。故障が発生した場合、カスタマーサービスにご連絡いただく前に、機器が洗浄されていることを再度確認してください。

使用されている記号の説明

	差し迫った危険を示します。回避しない場合、死亡または重傷事故につながるおそれがあります。
	アプリケーションのヒントやその他の特に役立つ情報を示します。
	作業中は適切な聴覚保護具を着用してください。
	作業中は適切な呼吸保護具を着用してください。
	作業中は適切な保護手袋を着用してください。

一般的な安全に関する注意事項

警告!



すべての安全に関する注意事項および指示書をお読みください。安全に関する注意事項および記載されている指示に従わない場合、感電、火災、および/または重傷事故につながるおそれがあります。以下で使用する「電動工具」という用語は、主電源式電動工具(電源コード付き)およびバッテリ式電動工具(電源コードなし)を指します。

1. 作業場の安全性

- a) 作業領域を清潔にして、照明がよく当たるようにしてください。作業場所が整理されていなかったり、十分な照明が確保されていないと、事故につながる可能性があります。
- b) 爆発の危険があるため、周囲に可燃性の液体、ガス、ほこりなどが存在する場所では、機器を使用した作業は行わないでください。電動工具から火花が出て、ほこりや気体に引火するおそれがあります。

c) 電動工具使用中は、お子様や他の方が近づかないよう注意してください。周囲に気を取られて、機器を使った作業に集中できなくなるおそれがあります。

2. 電気に関する安全性

- a) 機器のプラグは、コンセントに適合している必要があります。このプラグは、決して改造ではありません。アダプタープラグは、決して保護アース付き機器と一緒に使用してなりません。改造していないプラグと適合したコンセントを使用することで、感電のリスクが低くなります。
- b) パイプ、ヒーター、調理レンジ、冷蔵庫、など、アースされた表面に身体が触れないよう注意してください。身体が接地すると電気ショックを受けるリスクが大きくなります。
- c) 機器は雨に当たったり、濡れないようにしてください。電気製品に水が入ると、感電の危険が高まります。
- d) 機器を運んだり、ぶら下げたり、プラグをコンセントから抜くためにケーブルを本来の用途から外れて使用しないでください。ケーブルを熱、オイル、鋭利な物、機器の可動部に近づけないよう注意してください。ケーブルが損傷またはもつれていると、感電のリスクが高くなります。
- e) 屋外で電動工具を使用する場合は、必ず屋外での使用に適した延長ケーブルを使用してください。屋外での使用に適した延長ケーブルを使用することで、感電のリスクを低くすることができます。
- f) 湿気の多い環境での使用が避けられない場合は、漏電ブレーカーを使用してください。漏電ブレーカーを使用することで、感電のリスクを防ぎます。

3. 人員の安全

- a) 電動工具を使った作業では、事前に作業の内容を確認して、作業中は常に作業に集中してください。疲れている薬を服用している、あるいは飲酒しているときは、機器を使用しないでください。機器の使用中に一瞬でも集中力が散漫になると、深刻なケガにつながるおそれがあります。
- b) 必ず、作業に適した個人用保護具および保護メガネを着用してください。電動工具の種類や用途に応じて、防塵マスク、滑り止め付き安全靴、防護ヘルメット、聴覚保護具などの個人用保護具を着用することで、ケガのリスクを軽減できます。
- c) 誤って作動させないようにしてください。プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが「オフ」になっていることを確認してください。機器を持ち運ぶときにスイッチに指をかけたり、工具にスイッチが入った状態で電源に接続すると、事故につながることがあります。
- d) 機器のスイッチをオンにする前に、調整ツールやレンチが近くに無いことを確認してください。機器の回転部近くにツールやレンチがあると、ケガの原因となります。

- e) 不安定な場所での作業は避けてください。作業場が安定していることを確認するとともに、作業中も常に安定した状態を維持してください。これにより、思わぬ状況に陥った場合でも、機器を適切にコントロールできます。
- f) 作業に適した保護服を着用してください。大きすぎる保護服やネックレス等の貴金属は着用しないでください。髪、衣服、手袋を可動部に近づけないでください。ゆったりとした衣服、貴金属、長い髪の毛は可動部に巻き込まれるおそれがあります。
- g) 除塵・集塵装置を取り付けることができる場合は、正しく接続し、使用する必要があります。除塵機の使用により、粉塵による危険性を低減することができます。
- h) 安全でないのに間違って大丈夫だと思い込まないでください。電動工具を何度も使用して習熟している場合でも電動工具の安全規則を無視しないでください。たとえ一瞬でも取り扱いを誤ると、重傷事故につながるおそれがあります。

4. 電動工具の慎重な取り扱いおよび使用

- a) 機器に負荷をかけ過ぎないでください。作業に適した電動工具を使用してください。作業内容に適した電動工具を使うことで、適切な作業と安全性が確保されます。
- b) スイッチに欠陥のある電動工具は使用しないでください。正しくオン・オフできない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- c) 機器の設定、アクセサリーの交換または機器を片付ける前に、プラグをコンセントから抜いてください。この予防措置により、機器が不用意に始動するのを防ぐことができます。
- d) 使用していない電動工具は、お子様の手の届かない場所に保管してください。本機に不慣れな人や、この説明書を読んでいない人に使用させないでください。不慣れな人が電動工具を使用すると危険です。
- e) 機器のメンテナンスは慎重に行ってください。機器の可動部が固着しておらず、スムーズに動くこと、各部品が機器ツの作動に影響するような損傷を受けていないかどうか点検してください。機器を使用する前に、損傷した部品の修理を依頼してください。多くの事故は、機器のメンテナンスを怠ったことが原因で発生しています。
- f) 切削工具は鋭利に、清潔に保ってください。刃先が鋭く、丁寧に手入れされた切削工具は、詰まりが少なく、ガイドもしやすくなります。
- g) 電動工具、アクセサリー、取り付け工具などは、これらの指示に従って、また特定の種類の機器の規定に従って使用してください。その際、作業条件と作業内容を十分に考慮してください。本来の使用目的以外の方法で電動工具を使用すると、危険な状況を発生させる原因となります。
- h) グリップとグリップ面は油脂が付いていない、清潔で乾燥した状態に保ってください。グリップおよびその

表面が滑りやすいと、電動工具を安全に操作できず、思わぬ事故につながります。

5. バッテリーツールの使用と取り扱い

- a) 充電は、メーカーが推奨する充電器のみを使用してください。特定の種類のバッテリー用に設計された充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の原因となることがあります。
- b) この目的のために意図されたバッテリーのみを電動工具に使用してください。他のバッテリーを使用すると、けがや火災の原因となることがあります。
- c) バッテリーをショートさせないでください。未使用的バッテリーは、クリップ、コイン、鍵、釘、ネジなど、接点がブリッジする恐れのある小さな金属類に近づけないでください。バッテリーの接点が短絡すると、やけどや火災の原因になります。
- d) 使い方を誤ると、バッテリーから液体が漏れることがあります。液体に触れないようにしてください。誤って接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、さらに医師の手当てを受けてください。バッテリー液が漏れると、皮膚の炎症や火傷の原因となることがあります。
- e) 損傷したり、変質した電池は使用しないでください。損傷したり変質した電池は、予期せぬ動作で火災、爆発、けがの原因となることがあります。
- f) 電池を火や過度の高温にさらさないでください。火気があったり、130°C以上の高温になつたりすると、爆発の恐れがあります。
- g) 充電に関するすべての指示に従い、取扱説明書に指定された温度範囲外では、絶対にバッテリーやバッテリーツールを充電しないでください。不適切な充電や許可された温度範囲外での充電は、バッテリーが壊れて、火災の危険性を高めることができます。

6. サービス

- a) 電動工具の修理は、必ず資格を有する専門の作業者が純正のスペアパーツのみを使用して行なってください。これにより、機器の安全性を確保することができます。
- b) 損傷したバッテリーは絶対に自分でメンテナンスしないでください。バッテリーのメンテナンスはすべて、製造元または認定サービスセンターでのみ行ってください。

充電器とバッテリーの安全に関する注意事項



本機は、BOSCH AMPShare、GBAまたはProCore 対応の18 Vバッテリー（2.0 Ah以上）および適切な充電器のみ使用可能です。バッテリー電圧は、充電器のバッテリー充電電圧と一致させる必要があります。非充電式電池を充電しないでください。充電すると、火災や爆発の危険があります。

- 充電器は屋内のみで使用し、湿気から遠ざけてください。充電器に水が入ると、感電の危険が高まります。

- 充電器を清潔に保ってください。汚れていると感電の危険があります。
- 毎回使用する前に、充電器、ケーブル、プラグを確認してください。破損に気づいた場合は、充電器を使用しないでください。充電器は自分で開けないでください。修理は有資格者が行い、純正のスペアパーツのみを使用してください。充電器、ケーブル、プラグが破損していると、感電の危険が高まります。
- 可燃性の表面(紙、繊維など)の上や可燃性の環境では、充電器を操作しないでください。**充電中に充電器が発熱し、火災になるおそれがあります。
- バッテリーは部分充電された状態で出荷されます。バッテリーの性能を十分に發揮させるために、最初に使用する前に充電器でバッテリーを完全に充電してください。
- バッテリーはメーカー品以外は使用しないでください。これは、危険な過負荷からバッテリーを保護する唯一の方法です。
- バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。
- バッテリーを開けないでください。短絡する恐れがあります。
- バッテリーの破損や不適切な使用により、蒸気が漏れることがあります。新鮮な空気を吸い、それでも体調が悪い場合は医師に相談してください。蒸気は呼吸器官を刺激することがあります。
- バッテリーに欠陥がある場合、液体が漏れて周囲のものを濡らすことがあります。該当する部品を点検してください。その部品を洗浄するか、必要に応じて交換してください。
- バッテリーは、釘やドライバーなどの鋭利なもの、または外力によって破損することがあります。内部短絡が発生し、バッテリーが燃えたり、煙が出たり、爆発したり、過熱したりする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーは絶対に自分でメンテナンスしないでください。バッテリーのメンテナンスはすべて、製造元または認定サービスセンターでのみ行ってください。
- バッテリーを熱から保護し、例えば、日光に晒され続けることや火気、汚れ、水、湿気からも保護してください。爆発やショートの危険があります。
- バッテリーは、周囲温度-20°C～+50°Cの環境下でのみ使用・保管してください。夏場など、バッテリーを車内に放置しないでください。温度0°C未満では、ユニットにより性能が制限される場合があります。
- バッテリーの充電は、周囲温度0°C～+35°Cの環境下で行ってください。この温度範囲外で充電すると、バッテリーが損傷したり、火災の危険性が高またりすることがあります。
- リチウムイオンバッテリーは、危険物に関する法規制の対象となります。ユーザーはこのバッテリーを追加の制限なく道路上を搬送できます。第三者により発送される場合(航空輸送または運送会社など)、梱包とラベル付けに関する特別な要件を遵守する必要があります。発送の準備をする際には、危険物の専門家に相談する必要があります。ハウジングに損傷がない場合のみバッテリーをお送りください。開いている接点をテープでふさぎ、バッテリーが梱包内で動かないように梱包します。また、追加の国内規制がある場合はご注意ください。

健康の保護



危険

注意！呼吸保護具を着用してください。
塗料の霧や溶剤の蒸気は健康に有害です。

通気性のよい部屋、または換気装置のあるところでのみ作業してください。作業着、保護メガネ、聴覚保護具、手袋の着用が推奨されています。

可燃性塗料



危険

スプレーガンは可燃性物質のスプレーには使用しないでください。

防爆



危険

防爆規定が適用される作業場所では、本機を使用しないでください。

発火源によるスプレー作業中の爆発および火災の危険性



危険

裸火、タバコや葉巻およびパイプタバコの煙、火花、火が燃ぶるワイヤー、高温の表面など、近くに発火源があってはなりません

機器の接地



危険

溶剤を含む材料を扱う場合は、付属の接地ケーブルで本機を接地してください。

換気

スプレー作業中の火災、爆発、健康被害の危険を避けるため、自然換気または人工換気を十分に行う必要があります。

機器およびスプレーガンのロック

スプレーポンプを作動させる前に、すべてのホース、接続部、フィルター部品を固定する必要があります。固定されていない部品が勢いよく外れたり、高圧で液体が漏れたりして、重傷事故につながるおそれがあります。

ノズルの取り付け、取り外し、および作業を中断する際は、必ずスプレーガンをロックしてください。

スプレーガンの反動



危険

高い作動圧力でトリガーガードを引くと、最大15 Nの反動力が発生します。

この反動に備えていない場合、手をはね返されたり、バランスを崩したりする可能性があります。これはケガにつながるおそれがあります。この反動に長期間さらされると、永久的な健康被害につながるおそれがあります。

最大作動圧力

スプレーガン、スプレーガンのアクセサリー、および高圧ホースの許容作動圧力は、機器に指定されている最大作動圧力110 bar (11 MPa) を下回ってはなりません。

塗料

スプレーされたコーティング剤によって引き起こされる可能性のある危険性に注意を払い、また、容器のラベルやコーティング剤のメーカーの指示も同様に遵守してください。

危険性について知らない物質は絶対にスプレーしないでください。

ハロゲン化炭化水素を含む塗料や溶剤は使用しないでください。例えば、塩素、漂白剤、塩化メチレン、トリクロロエタンなどです。これらにアルミニウムとの適合性はありません。材料のアルミニウムとの適合性については、塗料の供給業者に確認してください。

高圧ホース (安全に関する注意事項)



危険

注意:注入によるケガの危険があります。摩耗や折れ、目的に合っていない使用によって、高圧ホースに漏れの箇所が生じる可能性があります。漏れの箇所から液体が皮膚内に注入される可能性があります。

高圧ホースは毎回使用前に入念に点検してください。損傷した高圧ホースはすぐに交換してください。

欠陥のある高圧ホースを絶対に自分で修理しないでください。

急激な曲がりや折れは避けてください。最小曲げ半径は約20 cmです。

高圧ホースの上に乗り上げないようにして、またとがったものや角から保護してください。

機器を動かすために高圧ホースを引っ張るようなことは絶対にしないでください。

高圧ホースをねじらないでください。

高圧ホースを溶剤に浸さないでください。外側は浸した布で拭いてください。

高圧ホースは、つまずく危険のないように置いてください。

スプレーガンと高圧ホースの静電気は高圧ホースから誘導されます。したがって、高圧ホースの接続部間の電気抵抗は197 kΩ/m (60 kΩ/ft) 以下である必要があります。

i 機能、安全性、寿命の観点から必ずWAGNER純正の高圧ホースおよびスプレーノズルを使用してください。概要については、「スペアパーツリスト」を参照してください。

古くなった高圧ホースを使用すると、損傷する危険が高まります。

高圧ホースを6年使用したら交換することをWagnerでは推奨しています。

機器の位置決め



危険

屋内で作業する場合:

本機の周辺で溶剤を含む蒸気が発生しないようにしてください。十分に換気してください。

屋外で作業する場合:

溶剤を含む蒸気を本機に向けてスプレーしてはなりません。風向きに注意してください。

メンテナンスおよび修理



危険

本機で作業を行う前に、本機を減圧してバッテリーを取り外してください。

本機の洗浄



危険

水の浸入によるショートの危険があります。

絶対に高圧洗浄機または高压スチームクリーナーで本機にスプレーしないでください。

溶剤を使用した機器の洗浄



危険

本機を溶剤で洗浄する場合、小さな開口部(栓穴)のある容器にスプレーしたり、ポンプで注入したりしないで下さい。爆発性のガス/空気の混合物の形成による危険があります。容器は接地(アース)を行う必要があります。

可燃性物質を洗浄に使用しないでください。

スプレー対象物の接地

スプレーする対象物は接地されている必要があります。



アウトレットバルブの下に液体が溜まると、ピストンパッキンから漏れる可能性があります。

そのまま使用を続けると、液体が漏れて機器の下を汚すおそれがあります。

使用可能な材料*

- 内壁用塗料(ディスパージョンおよびラテックス塗料)
- 溶剤系および水溶性塗料、艶出し剤、下塗り剤、含浸剤、ステイン、木材防腐剤、オイル。

* 材料メーカーの指示に従ってください。



溶剤を長時間タンク内部で保管された場合、蓋パッキンなどが変形し、漏れにつながる恐れがあります。

不適切な材料

- 研磨性の高い成分を含む材料。ケイ酸塩塗料、ファーサード塗料、アルカリ性および酸性塗料。
- 可燃性塗料、アセトンやニトロシンナーを含む塗料

使用範囲

屋内の壁、ドア、ラジエーターなど、屋外の小型および中型の物体(庭のフェンス、ガレージのドアなど)の塗装。

技術データ*

バッテリー (ProCore 18 V、4.0 Ah)	リチウムイオン、18 V 、4.0 Ah
充電器 (GAL 18V-40):	
入力電圧	100V~、50~60 Hz;
出力電圧	14.4~18 V
充電電流	4 A
保護等級 (充電器)	<input type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/>
充電時間 (バッテリー18 V、4.0 Ah)	約48分 (80%)、 65分 (100%)
最大圧力	11 MPa (110 bar)
最大供給量	0.9 l/min
塗料の最高温度	43 °C
音圧レベル**	75 dBA
不確実性	K= 4 db
音響パワーレベル**	88 dBA
不確実性	K= 4 db
振動レベル***	3.8 m/s ²
不確実性	K = 1.5 m/s ²
最高周囲温度	40 °C
ポンプ	ピストンポンプ
最大容器容量	4.7 l
最大ノズルサイズ	0.017 (インチ)
最大ホース長	15 m
重量 (ホース・ガンを除く/バッテリ ー未装着時)	4.2 kg

* ProCore 18 V、4.0 Ahバッテリーおよび充電器GAL 18V-40を使用する場合、

** EN 50580に従って測定

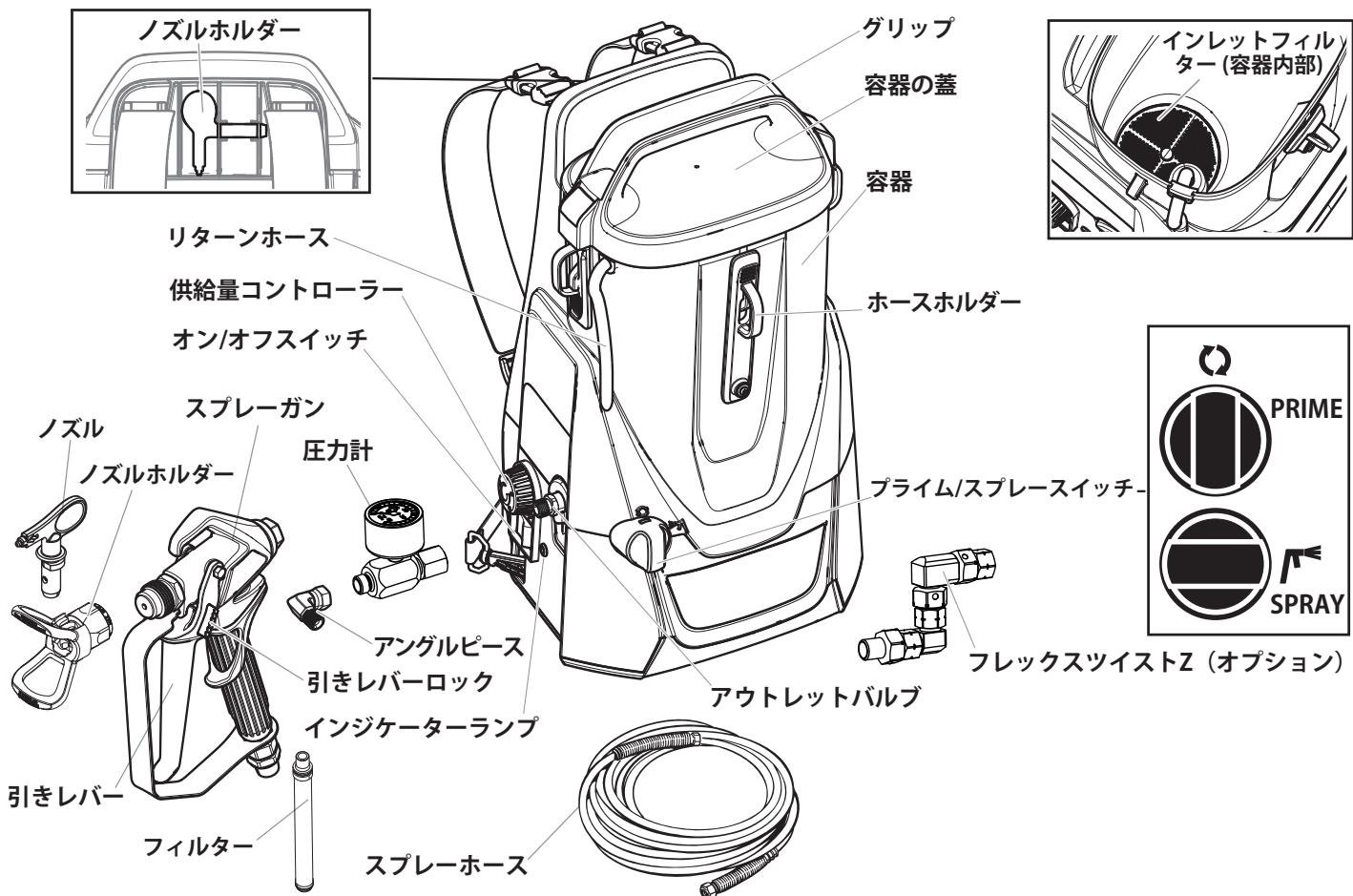
*** EN 62841-1 に従って測定

振動レベルに関する情報

規定の振動レベルは、標準化された試験手順に従って測定されており、電動工具の比較に使用できます。

振動レベルは、振動負荷の初期評価にも使用されます。

注意!電動工具の使用方法によっては、実際の使用時に振動拡散値が規定値と異なる場合があります。実際の使用状況(ここでは、電動工具の電源が切れている時間、および電源が入っているが負荷がかからない時間など、運転サイクルのすべての部分を考慮する必要があります)における振動暴露量の推定に基づいて、オペレーターを保護するための安全対策を確立する必要があります。

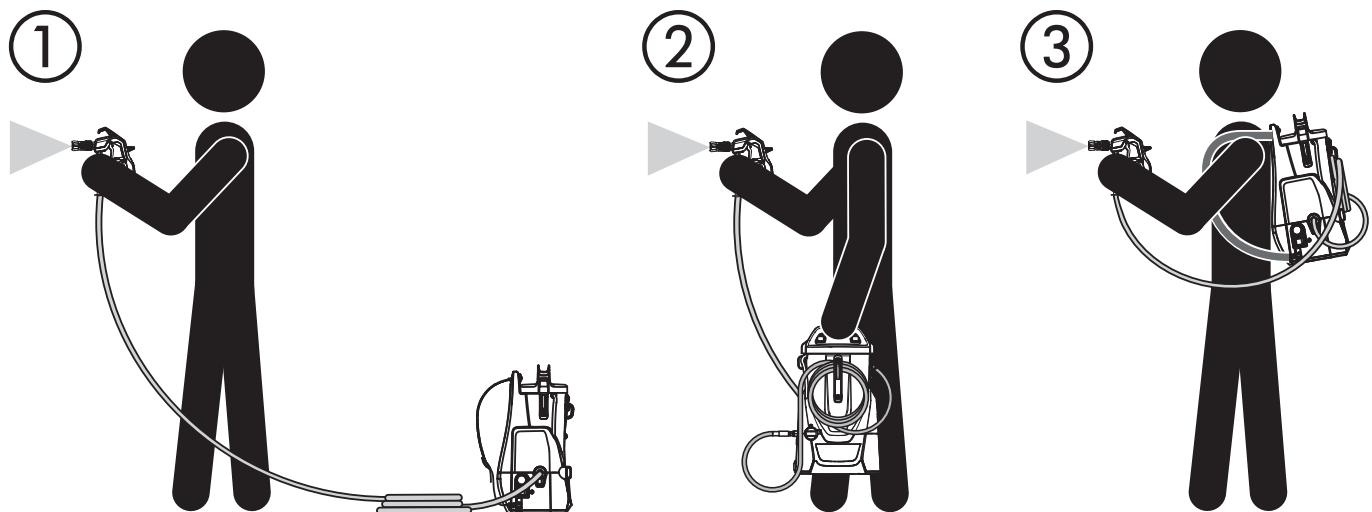


操作部および機能

オン/オフスイッチ	オン/オフスイッチは機器のオンとオフを切り替えます (0=オフ、1=オン)
プライム/スプレースイッチ	プライム/スプレースイッチは、スプレーに設定されている場合は液体をスプレー ホースに送り、プライムに設定されている場合は液体をリターン ホースに送ります。
供給量コントローラー	供給量コントローラーにより、使用する材料および所望のスプレー パターンに合わせてポンプの作動速度を調整することができます。
インジケーターランプ	バッテリーの充電状態およびエラーメッセージを表示します

運転モード

スプレーシステムは3通りの使い方ができます。



組み立てに必要な工具

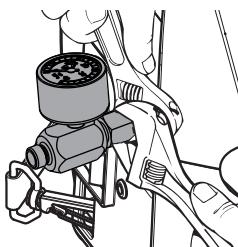
- オープンエンドスパナ2本。



機器が完全に組み立てられるまで、バッテリーを挿入しないでください。

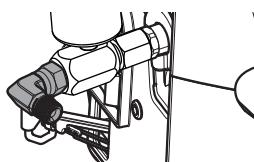
圧力計

圧力計をホース接続部にねじ込みます。



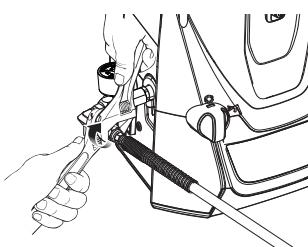
ホース

アングルピースを圧力計にしっかりとねじ込みます。



高圧ホースをアングルレピースにねじ込みます。

調整可能なスパナで接続部を持ち、別のスパナでホースを締めます。



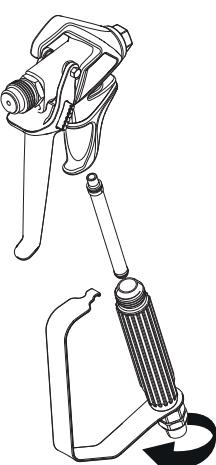
ガン

ガンヘッドから保護ブラケットを緩め、ガンヘッドからグリップを外します。

ガン内部に入っている白色ガンフィルターを取り除き、HEAチップのパッケージに同梱されている黄色ガンフィルターに交換します。

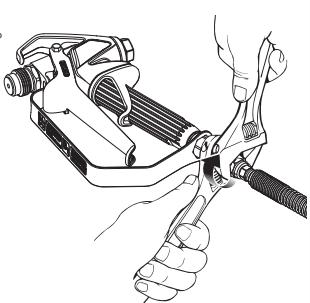
黄色ガンフィルターを円錐面を上に向けて挿入します。

グリップをねじ込んで戻し、保護ブラケットをガンヘッドにはめ込みます。

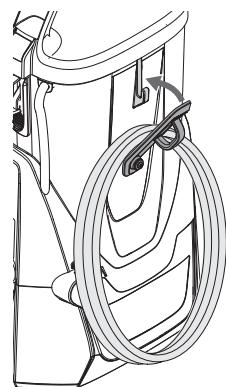


フレックスツイストZがある場合は、ガンとホースの間に取り付けます。

ホースのもう一方の端のネジをスプレーガンの接続部にねじ込みます。調節可能なスパナでスプレーガンのグリップを保持し、別のスパナでホースナットを締めます。

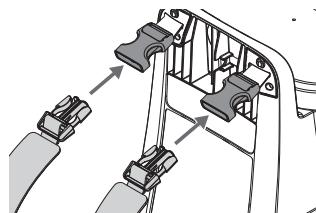


リュックサックのように持ち運ぶ場合は、ホースホルダーを開き、巻き取ったホースを引っ掛けます。



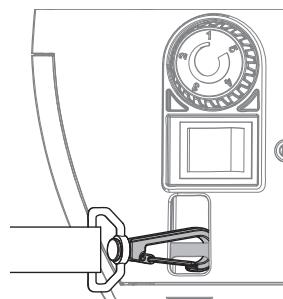
携帯用ストラップ

携帯用ストラップを機器上部のクイックラッチに取り付けます。



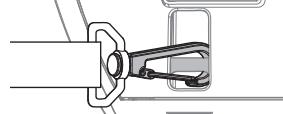
携帯用ストラップを機器の底部に引っ掛けます。

機器を肩に掛け、ご自身に合うように携帯用ストラップを調節してください。



機器が傾き過ぎると(前かがみになったときなど)、警告音が鳴ります。

タンク内に材料が入っている時は必ず蓋を閉め両端の止めバンドを絞めてください。



塗料の準備

ノズルおよびフィルターの急激な目詰まりを避けるために、スプレー前に塗料をよく混ぜ、ふるいにかけることが推奨されています。材料メーカーの指示に従ってください。

ノズルおよびガンフィルターの選択

ノズル番号の最初の数字はスプレー角度を示します。
例：4xx = 40°

2番目と3番目の数字はノズルサイズを示します。
例：x10 = 0.010インチ

ノズルサイズに応じて、適切なガンフィルターを選択する必要があります。

ノズルサイズ **フィルター**

X08、X10、X11、X12、X13、X14

赤

x15

黄色

x17

ホワイト

ガンのロックおよびロック解除



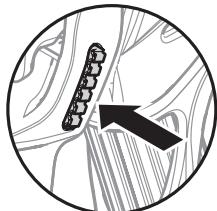
警告



スプレーノズルを取り付けるとき、またはスプレーノズルを使用しないときは、必ず引きレバーをロックしてください。

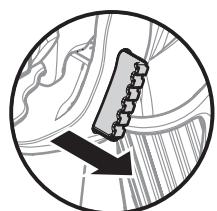
ガンをロックする

ガンの背面から見て右側に突き出るように、引きレバーのロックを左から右へスライドさせます。



ガンをロック解除する

ガンの背面から見て左側に突き出るように、引きレバーのロックを右から左へスライドさせます。

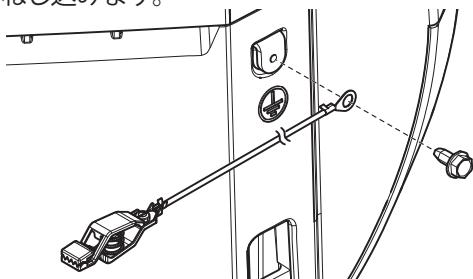


接地

警告

溶剤を含む材料を使用する場合、本機を接地する必要があります。

1) 接地ネジを外し、付属の接地ケーブルを本機の側面にねじ込みます。



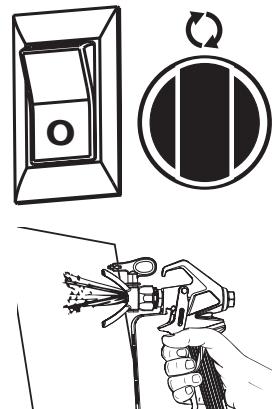
2) 接地クランプを適切な金属製設備(水道管、ラジエータ、庭のフェンスなど)に取り付けます。

機器を無圧状態にする

警告

機器のスイッチをオフにするたびに、まず減圧する必要があります。この手順により、スプレー ホースが減圧されます。

- 1) スプレーガンをロックし、オン/オフスイッチをオフの位置にします。
- 2) プライム/スプレースイッチをプライムの位置に回します。
- 3) スプレーガンのロックを解除し、木片またはボール紙に向けて引きレバーを引きます。
- 4) スプレーガンをロックします。



空運転

注意

液体がない状態で運転すると、摩耗が進み、ポンプが損傷します。

機器を30秒以上空運転させないで下さい。

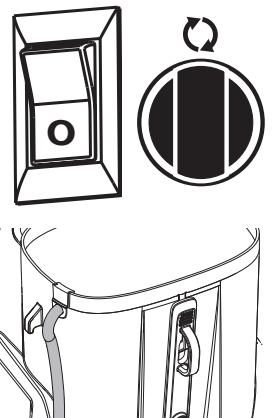
空運転は、ガンまたはインレットフィルター/インレットフィルターの目詰まりによって引き起こされる可能性があります。そのため、フィルターは定期的に点検し、洗浄してください。

容器の再充填/ポンプの排気

注意

容器内の塗料がなくなると、空気が吸い込まれることがあります。再充填の際は、空運転を防ぐため、下記の要領でポンプを排気してください。

- 1) すぐにポンプのスイッチをオフにします。
- 2) 容器を再充填します。
- 3) プライム/スプレースイッチをプライムの位置に回します。
- 4) ポンプのスイッチを再度オンにし、塗料がリターンホースから流れ出るまで待ちます。
- 5) プライム/スプレースイッチをスプレーの位置に回し、作業を続けます。



充電

電源に接続する前に、電源が充電器の銘板に記されている指定値と一致することを確認してください。

インジケーターランプの説明



バッテリー（1）を充電器（2）に挿入すると、緑のインジケーターランプ（4）が「点滅」を開始します。これは、バッテリーが充電中であることを示しています。



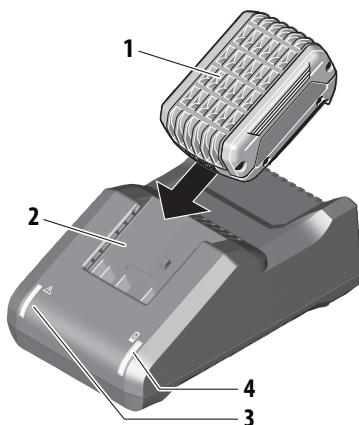
緑色のインジケーターランプ（4）が常に点灯している場合は、バッテリーが完全に充電されていることを示しています。



赤色のインジケーターランプ（3）が常に点灯している場合は、バッテリーの温度が許容範囲（0°C～35°C）外であることを意味します。適正温度範囲になると、自動的に充電が開始されます。



赤いインジケーターランプ（3）が点滅する場合は、充電器またはバッテリーの接点が汚れているか、バッテリーに欠陥があるか、バッテリーと充電器の互換性がない可能性があります。接点を洗浄するか、バッテリーを交換してください。

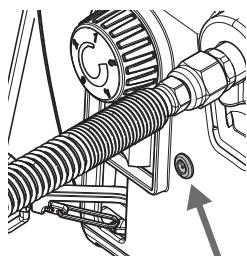


充電器のメインプラグをコンセントに差し込みます（充電器の緑色のインジケータランプ（4）が点灯します）。

1. バッテリーの充電が完了したら、充電器からバッテリーを取り出します。

2. 充電器の電源プラグをコンセントから抜きます

インジケーターランプ



常に点灯

= 十分なバッテリー充電

点滅
(警告音も鳴る)

= バッテリーの充電が必要

塗料の準備

スプレー・パック18Vを使用すると、内壁用塗料、艶出し剤を原液または希釈してスプレーすることができます。詳しい情報は、塗料メーカーの技術データシート（→インターネットダウンロード）を参照してください。

1. 材料を十分に攪拌し、推奨希釈率に従って容器内で希釈します（攪拌には攪拌機を使用することが推奨されています）。

推奨希釈率

釉薬、弱溶剤系または水で希釈可能な木材防腐剤、ステイン、オイル、消毒剤、殺虫剤	原液*
弱溶剤系または水で希釈可能な塗料、下塗り剤、	5～10%希釈*
内壁用塗料（ディスページョンおよびラテックス塗料）	0～10%希釈*

* 材料メーカーの指示に従ってください。



表中の数値は目安です。使用する材料に最適な希釈率は、スプレーテストによって決定する必要があります。

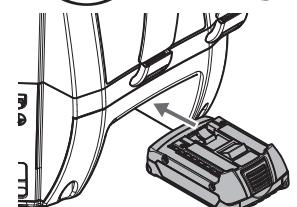
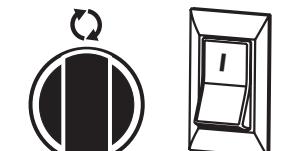
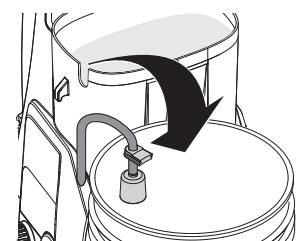
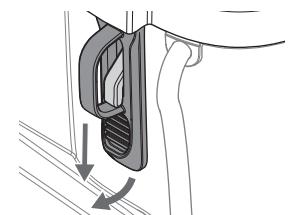
ポンプの作動準備

- 1) インレットフィルターが容器内に正しく取り付けられていることを確認してください。必要に応じて、図のように所定の位置にはめ込みます。
- 2) フィルターのボタンを1回下へ押します。これにより、インレットバルブが正常に機能するようになります。

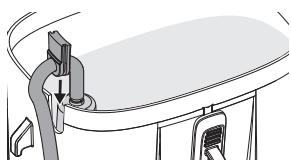


システムおよびすべての接続が締まっていることを確認するために、まず水を入れて次の手順を行うことが推奨されています。

- 3) ラッチを下に引き、フックを外して蓋を外します。
- 4) 容器にスプレーする作業材料を充填します。リターンホースを容器から引き出し、空の容器の上に配置します。
- 5) プライム/スプレースイッチをプライムの位置に回します。
- 6) バッテリーを挿入し、オン/オフスイッチをオンの位置にします。
- 7) スピードコントロールを時計回りにゆっくりと2まで回します。
- 8) リターンホースに作業材料が流れることを確認します。
- 9) ポンプのスイッチをオフにします。



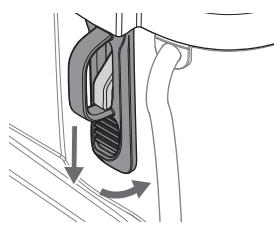
- 10) リターンホースを容器に再び挿入します。シーリンググロメットがスロットに正しくはめ込まれている必要があります。



- 11) 2つのラッチを引っ掛け、再度容器に蓋をします。



蓋は密閉されていません。したがって、充填された機器を傾けないでください。



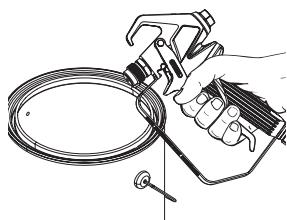
作業材料の吸引

スプレーノズルを取り付けていない状態で、次の手順を実行します。

- 1) スプレーガンのロックを解除し、プライム/プレーススイッチをプライムの位置に回します。



- 2) 金属製容器の縁にガンを接触させ、ガンを接地します。



- 3) 引きレバーを引き、しっかりと保持します。

- 4) ポンプのスイッチをオンにします。スピードコントロールを時計回りにゆっくりと2まで回します。

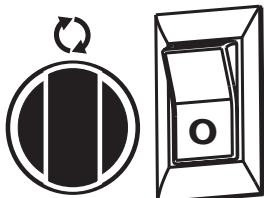


警告
吐出する液体を手で触らないでください。

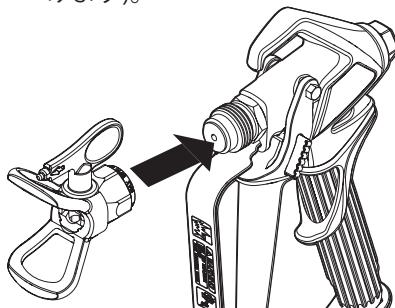
- 5) 引きレバーを引いたまま、プライム/プレーススイッチを回してスプレーに合わせます。スプレー ホースから空気、水、溶剤が完全に抜け、塗料が自由に流れるまで引きレバーを引いてください。



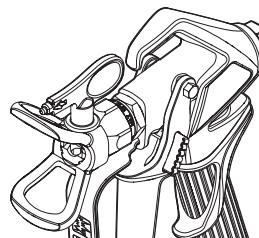
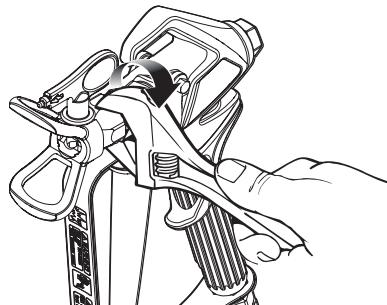
- 6) 引きレバーを放し、プライム/プレーススイッチをプライムの位置に回し、ポンプをオフにします。



- 7) 再度ガンを廃棄物容器に向けてから引きレバーを引き、ホースが完全に減圧されていることを確認します。
8) スプレーガンをロックします。
9) ノズルを差し込みます(先端をスプレーする方向に向けます)。



- 10) ガンにスプレーノズルセットをねじ込みます。手で締めてからスパナで締めます。



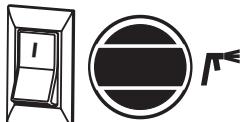
これで機器を使用する準備が整いました。

用途

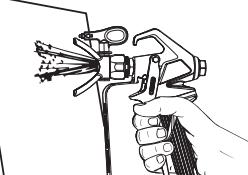
▲ 注意

塗料ホースにねじれがなく、近くに鋭利な角のあるものがないことを確認してください。

- 1) ポンプのスイッチをオンにし、プライム/スプレースイッチをスプレーの位置に回します。
- 2) モーターのスイッチがオフになつたらすぐに、スプレーガンのロックを解除し、テスト面にスプレーしてスプレーパターンを確認します。



ホースに十分な圧力がかかると、モーターは自動的に停止します。モーターは必要な圧力に応じてオンまたはオフになります。



良好なスプレー結果



良好でないプレー結果(筋が残る)

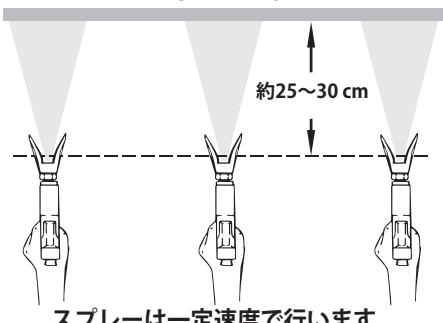
スプレーパターンに影や筋が見られる場合は、次の原因が考えられます。スプレーノズルまたはスプレーガンのフィルターが詰まっています。スプレーノズルが磨耗しているか、塗料が十分に希釈されていません。詳細については、次ページの「スプレーのトラブルシューティング」を参照してください。

スプレー技術

質の高いスプレー作業を行うには、表面全体に均一に塗布することが鍵となります。これは均一なスプレージェットにより実現されます。押さえておくべき**ポイント**を次に説明します。

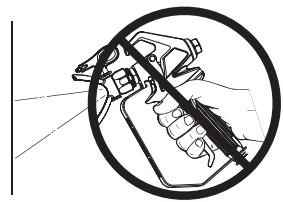
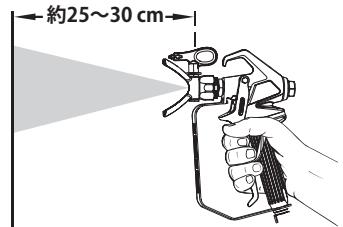
ポイント: スプレーガンからスプレー面までの距離を一定に保ち、一定の速度でアームを動かします。スプレーノズルと塗布面の間が25 cm~30cmになるのが最適な間隔です。

均一な塗布



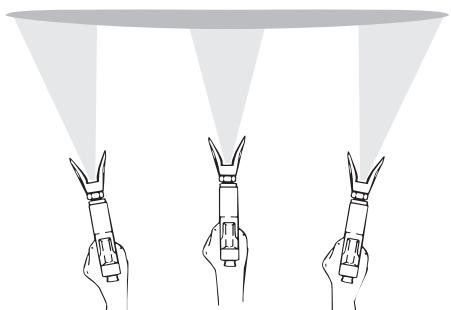
スプレーは一定速度で行います。

ポイント: 均一なスプレーパターンを得るために、スプレーをガスをスプレー面に対して直角に持ちます。



ポイント: スプレーをスプレー面に対して直角に持ちます。手首ではなく腕を使ってスプレーします。

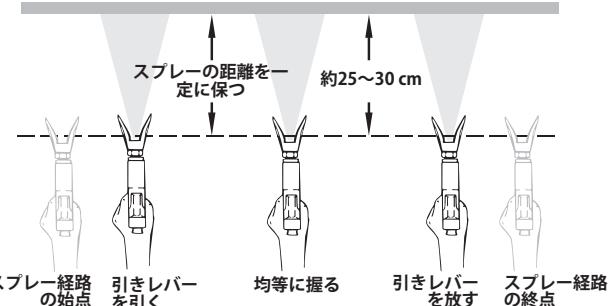
薄い塗装 厚い塗装 薄い塗装



スプレー時に手首を回さないでください。

ポイント: スプレー経路の始点で引きレバーを引き、経路の終点で再び引きレバーを放します。スプレー経路の途中で引きレバーを引かないでください。これを行つてしまうと、不均一で斑点のあるスプレーパターンになります。

スプレーガンの正しい使用



その他のポイント

スプレー経路が約30%重なるようにします。これにより、均一な塗布が可能になります。スプレーが終了したら、機器を無圧状態にする手順を行い、電源プラグを抜いてください。スプレーするときは容器の蓋をしたままにしてください。こうすることで、作業材料に異物が落ちることはあります。作業が1時間以上中断された場合は、本取扱説明書の保管の節(17ページ)に記載されている短期保管手順に従ってください。

以下に、スプレー時に発生する可能性のある軽微なトラブルを挙げます。これらのトラブルのいずれかが発生した場合、作業材料の流れ、したがってスプレーパターンが損なわれるか、ガンが作業材料を吐出しなくなります。

これらのトラブルを解決するには、このページに記載されている指示に従ってください。

スプレーノズルの詰まりを除去する



警告



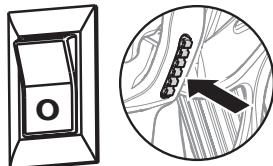
決して指先でノズルの詰まりを取り除こうとしないでください。

▲ 注意

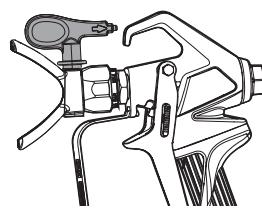
ノズルの洗浄に針などの鋭利なものを使用しないでください。超硬合金ノズルが損傷する可能性があります。

スプレーパターンが不規則である場合、またはガンを作動させてもスプレーが出ない場合は、次の手順を実行してください。

- ポンプのスイッチをオフにし、引きレバーを放し、ガンをロックします。



- 矢印がガンの後方を向くように切り替えノズルを180°回転させます。



スプレーノズルに圧力がかかつていて、ノズルを回すのが難しい場合があります。プライム/スプレースイッチをプライムの位置に回し、ガンの引きレバーを引きます。これにより減圧され、ノズルが回しやすくなります。

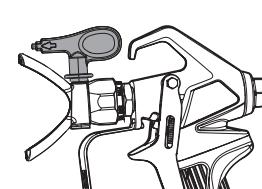
- プライム/スプレースイッチをスプレーの位置に回します。



- スプレーガンのロックを解除し、ガンを木片またはボール紙に向けて引きレバーを引きます。これにより、スプレー ホースからの圧力で詰まりの原因となっている障害物を吹き飛ばすことができます。ノズルの詰まりが取れるとすぐに、塗料が高圧で吐出されます。

それでも塗料がスプレーノズルから出てこない場合は、次に記載されている手順を実行してください。

- 引きレバーを放し、ガンをロックします。
- 矢印が再び前方を向くようにノズルを回します(スプレー位置)



- スプレーガンのロックを解除し、スプレー作業を再開します。

スプレーガンフィルターの詰まりを除去する

スプレー機器を使用する度にフィルターを洗浄する必要があります。高粘度の塗料を使用する場合は、より頻繁にフィルターを洗浄する必要があります。

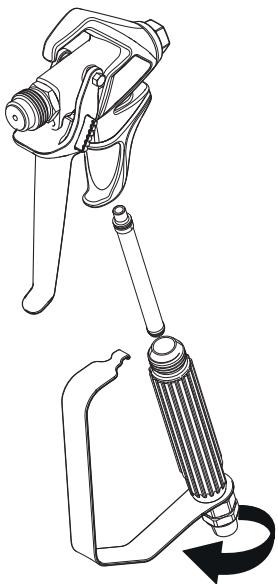
- 機器を無圧状態にする(10ページ)の手順に従ってください。

- ガンヘッドから保護ブラケットを緩め、ガンヘッドからグリップを外します。

- ガンフィルターを取り外します。

フィルターを洗浄する際は、使用する作業材料に不純物が含まれていないか確認してください。塗料をふるいにかける(10ページ)を参照してください。

- フィルターに損傷がないか点検してください。穴がある場合は、フィルターを交換してください。



▲ 注意

鋭利なものでフィルターを扱わないでください。

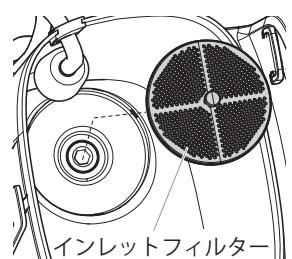
- 円錐面を上向きにしてガンフィルターを再度取り付けます。
- グリップをねじ込んで戻し、保護ブラケットをガンヘッドにはめ込みます。

インレットフィルターの詰まりを除去する

- 機器を無圧状態にする(10ページ)の手順に従ってください。

- 容器を完全に空にします(15ページの「容器を空にする」を参照)。

- 容器からインレットフィルターを取り外します。フィルターを緩めるにはペンチが必要になる場合があります。



- インレットフィルターを適切な洗浄液(温かい石鹼水)で洗浄します。

- フィルターを再度取り付けます。

このページに記載されている手順を実行してもスプレーに問題がある場合は、「トラブルシューティング」のページ(19ページ)で詳細をご覧ください。

洗浄に関する重要な注意事項

スプレー機器を洗浄する前に、注意事項および警告をお読みください。

- スプレー機器の十分な洗浄および潤滑は、保管後に機器が適切に機能するための最も重要な前提条件です。
- スプレー機器および構成部品を適切な洗浄剤(水溶性スプレー材料の場合は温かい石鹼水など)で洗浄します。
- スプレー機器を洗浄した後は、洗浄液を適切に廃棄してください。
- 携帯用ストラップを取り外すと、洗浄しやすくなります。

容器を空にする



警告

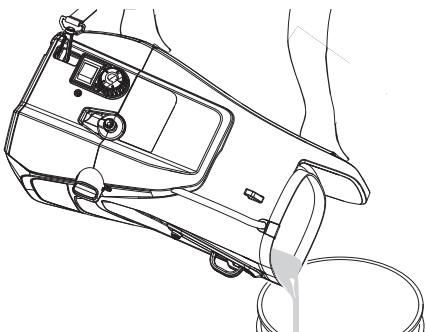
機器がスプレー材料で満たされると、非常に重くなる可能性があります。ケガを避けるため、背中ではなく腕を使って機器を持ち上げてください。



注意

物的損傷を避けるために、床や家具にカバーがかけられていることを確認してください。

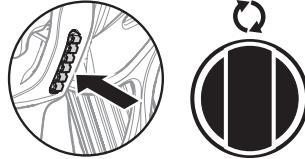
- 1) 機器を無圧状態にする(10ページ)の手順のすべてのステップを実行してください。
- 2) 容器から蓋を取り外します。
- 3) 機器の2つのグリップを持ち、容器の中身を元の容器に注ぎます。



塗料ホースを空にする

次の手順を実行することで、スプレーホース内に残った塗料を再利用することができます。

- 1) ガンをロックし、スプレーノズルセットを取り外し、プライム/スプレースイッチを回してプライムにセットします。



- 2) 容器に適切な洗浄液を入れます。
- 3) 金属製容器の縁にガンを接触させ、ガンを接地します。
- 4) ガンのロックを解除し、引きレバーを引いて保持します。



- 5) 引きレバーを押したまま、ポンプのスイッチをオンにし、プライム/スプレースイッチを回してスプレーにセットします。



すべての塗料がホースから排出され、洗浄液がガンから出てくるまでポンプを作動させます。

- 6) 引きレバーを放し、プライム/スプレースイッチを回してプライムにセットします。
- 7) スプレー缶を別の金属容器の縁に当て、引きレバーを引いて保持します。



- 8) プライム/スプレースイッチをスプレーの位置に回し、ガンから出る液体が透明になるまで引きレバーを引きます。

容器内の洗浄液の補充が必要な場合があります。

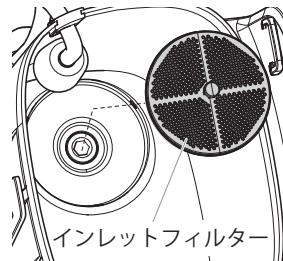
- 9) プライム/スプレースイッチをプライムの位置に回し、ガンの引きレバーを再度引いて無圧状態にします。

容器をすすぐ

- 1) 容器を適切な洗浄液で十分にすすぎます。

洗浄液がモーターハウジング内に垂れないように注意してください。

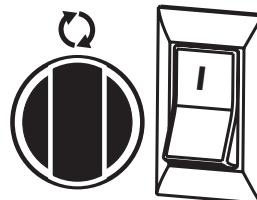
- 2) 容器の底部からインレットフィルターを取り外し、洗浄します。フィルターを緩めるにはドライバーが必要になる場合があります。



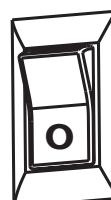
- 3) フィルターを再度挿入し、洗浄液を適切に廃棄してください。

スプレー機器を洗浄する

- 1) 新しい洗浄液を容器に入れます。
- 2) プライム/スプレースイッチをプライムの位置に回し、ポンプをオンにします。



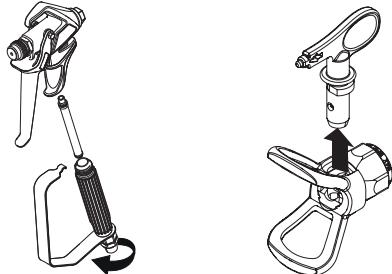
- 3) 洗浄液をポンプからリターンホースを通して2~3分間循環させます。
- 4) ポンプのスイッチをオフにします。



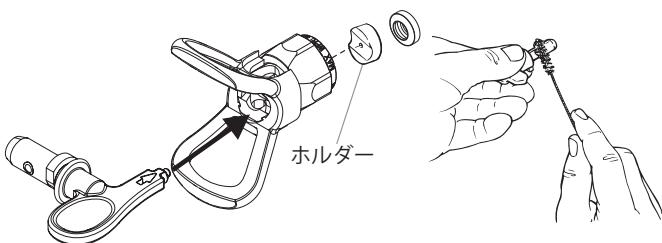
- 5) 洗浄液を適切に廃棄し、次ページのスプレー缶の構成部品を洗浄するに進みます。

スプレーガンの構成部品を洗浄する

- 1) 機器を無圧状態にする(10ページ)の手順に従ってください。
- 2) スプレーガンからフィルターを取り外します(14ページのスプレーガンフィルターの詰まりを除去するを参照)。
- 3) スプレーノズルをノズルホルダーから取り外します。



- 4) スプレーノズルおよびフィルターは、柔らかいブラシおよび適切な洗浄液で洗浄してください。スプレーノズルセット後部のホルダーを必ず取り外してから洗浄してください。

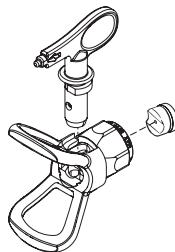


- 5) スプレーガンを再度組み立てます。

- ガンフィルターを挿入し、マイナスドライバーで締めます。
- スプレーノズルとホルダーを取り付けます。ノズルホルダーをガンに取り付け、締めます。

重要!

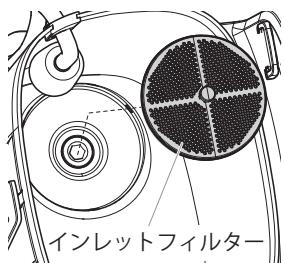
ポンプを洗浄した後は、保管に備えて温かい石鹼水で再度ポンプをすぐことが推奨されています。ポンプを洗浄する手順を繰り返します。



インレットバルブを洗浄する

機器の吸引に問題がある場合、インレットバルブの洗浄または交換が必要な場合があります。このトラブルは、不適切な洗浄や保管が原因である可能性があります。

- 1) 容器の底からインレットフィルターを取り外します。



- 2) 六角レンチ(8 mm)を使用して、インレットバルブハウジング(1)を緩めて取り外します。

注意:丸頭六角レンチは使用できません。

- 3) バルブシート(2)、ボール(3)、スプリング(4)、Oリング(5)を適切な工具(ニードルノーズペンチ、ピンセットなど)を使用して取り外します。

ポイント:または、蓋をしたまま機器を逆さにし、機器の底部を軽く叩いて部品を取り外すこともできます。

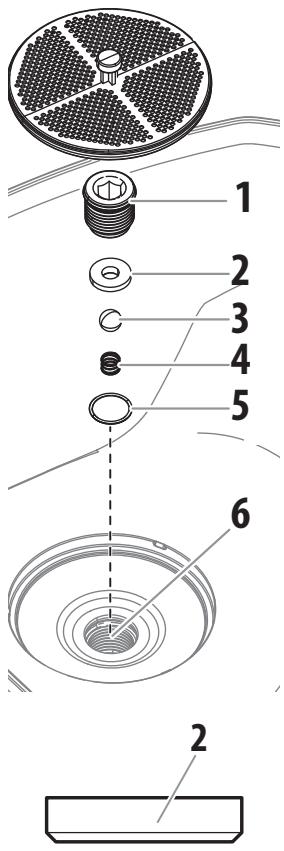
- 4) 容器内のすべての部品とバルブエリア(6)を点検し、十分に洗浄します。損傷した部品を交換します。

- 5) インレットバルブハウジング(1)のOリングを十分に潤滑します。

- 6) 図に示すように、すべての部品を再度取り付けます。インレットバルブシート(2)の円錐面は下向きである必要があります。

- 7) インレットバルブハウジング(1)を六角レンチ(8 mm)で再度締めます(6.5 Nm)。

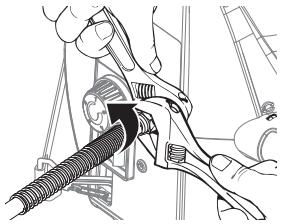
注意:締めすぎると、インレットバルブハウジング(1)を痛め、破損の原因となる恐れがあります。



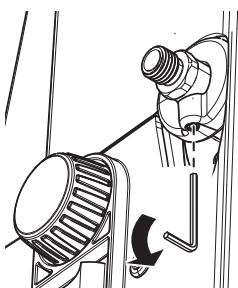
アウトレットバルブを交換する

本取扱説明書の「スプレーのトラブルシューティング」に記載されているすべての手順を実施しても、スプレー性能が満足に得られない場合は、アウトレットバルブを交換する必要がある場合があります。

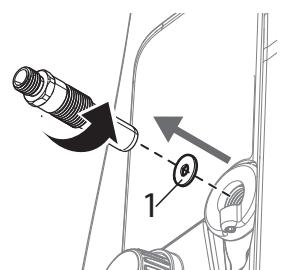
- 1) レンチ2本を使用して高圧ホースをアウトレットバルブから取り外します。



- 2) アウトレットバルブの底部にあるネジ(六角レンチ2.5mm)を緩めますが、取り外さないでください。



- 3) レンチを使用してベースユニットからアウトレットバルブを取り外します。ワッシャー(1)も取り外すのを忘れないでください。



- 4) アウトレットバルブを点検し、十分に洗浄してください(特に後部のボールシート)。必要に応じて交換してください。

- 5) アウトレットバルブハウジングの内部を点検します。塗料の残留物を除去します。
- 6) ワッシャー(1)と新品／洗浄されたアウトレットバルブを取り付けます。(開口スパンナでアウトレットハウジングに締め付けます:13Nm)。

- 7) ネジを再び締めます(2.6Nm)。

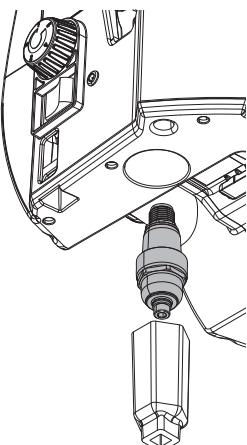
警告

ホースとガンを確実に接地するために、ネジをしっかりと締めてください。

パルセーションダンパーを交換する

しばらくしてスプレージェットが脈動し始めた場合は、パルセーションダンパーを交換する必要があります (サービスセット2465928)。

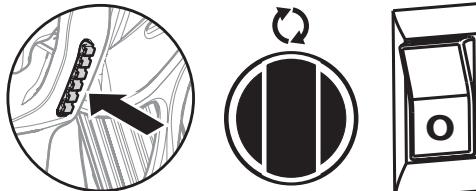
- 1) セットに含まれる工具を使い、機器の底部にある穴からパルセーションダンパーを取り外します。
- 2) 新しいパルセーションダンパーを挿入し、しっかりとねじ込みます。



短期間の保管

使用停止

- 1) 機器を無圧状態にする(10ページ)の手順のすべてのステップを実行してください。



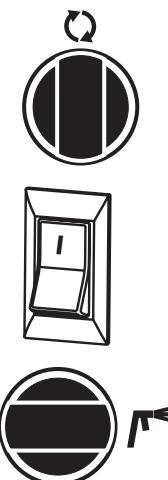
- 2) 塗料の乾燥を防ぐために、コップ半分の希釈液をゆっくりと加えます。容器に蓋を再度取り付けます。
- 3) スプレーガンセットを湿らせた布で包み、ビニール袋に入れます。袋を密閉します。



- 4) スプレー機器の電源コードを抜きます。
- 5) 短期間保管する場合は、スプレー機器を直射日光の当たらない安全な場所に置いてください。

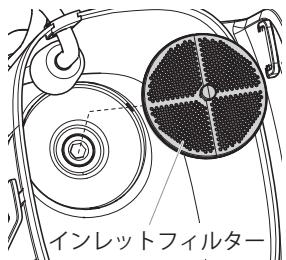
作動開始

- 1) ビニール袋からガンを取り出し、塗料に水を混ぜます。
- 2) プライム/スプレースイッチがプライムの位置にあることを確認してください。
- 3) スプレー機器の電源コードを差し込み、スイッチをオンにします。
- 4) プライム/スプレースイッチをスプレーの位置に回します。
- 5) スプレー機器を適切な表面でテストし、スプレーを開始します。



スプレー機器の長期保管の準備

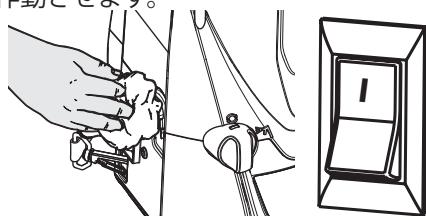
- 1) 15~16ページに記載されているすべての洗浄手順を実行する必要があります。
- 2) インレットフィルターを取り外します。フィルターを緩めるにはドライバーが必要になる場合があります。



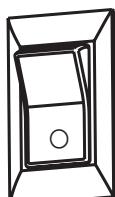
- 3) インレットバルブに低粘度の機械油を約10 ml注入します。



- 4) アウトレットバルブからホースを取り外し、アウトレットバルブに布を被せて、スイッチをオンにします。機器を5秒間作動させます。



- 5) ポンプのスイッチをオフにします。



- 6) インレットフィルターを再度挿入し、フィルターのボタンを押します。



- 7) 機器全体、ホース、ガンを湿らせた布で拭き、塗料の残留物を取り除きます。

▲ 警告

メンテナンス作業を行う前に、必ず機器を無圧状態にして下さい (10ページの「機器を無圧状態にする」を参照)。

トラブル

A. スプレー機器が始動しません。

原因

- 1) バッテリーが空、欠陥がある、または互換性がありません
- 2) オン/オフスイッチがオフになっています。
- 3) 圧力が残っているため、スプレー機器のスイッチがオフになります。
- 4) モーターに欠陥があります。

対処法

- 1) 充電または交換します
- 2) オン/オフスイッチをオフにします。
- 3) 圧力要件に応じて、スプレー中にモーターがオンまたはオフになります。これは通常のプロセスです。スプレーを続けます。
- 4) スプレー機器をWagner認定のサービスセンターまでお持ちください。
- 1) 機器をプライムにセットし、塗料がリターンホースから出てくるまでスイッチをオンにします。
- 2) 容器に再度充填します。機器をプライムにセットし、塗料がリターンホースから出てくるまでスイッチをオンにします。
- 3) インレットフィルターを詰まっています。
- 4) インレットまたはアウトレットバルブが固着しています。
- 5) インレットバルブが磨耗または損傷しています。
- 6) プライム/スプレーバルブが詰まっています。
- 1) スプレー/ノズルが磨耗しています。
- 2) インレットフィルターが詰まっています。
- 3) ガンまたはスプレー/ノズルのフィルターが詰まっています。
- 4) 塗料の粘度が高すぎるか粒子が粗すぎます。
- 5) アウトレットバルブセットが汚れているか摩耗しています。
- 6) インレットバルブセットが損傷または摩耗しています。
- 1) 機器に過負荷がかかっています / モーターが過熱しています
- 1) スプレー機器をWagner認定のサービスセンターまでお持ちください。
- 1) スプレー/ノズルを新しいノズルと交換します。
- 2) インレットフィルターを洗浄します。
- 3) 洗浄するか、適切なフィルターに交換します。予備の交換用フィルターは常に用意しておいてください。
- 4) 塗料を希釀するか、ふるいにかけます。
- 5) アウトレットバルブセットを洗浄または交換します。
- 6) インレットバルブを交換します。
- 1) 本機のスイッチをオフにし、減圧して冷却させます。それでも問題が解決しない場合は、Wagnerサービスまでお問い合わせください。

B. スプレー機器は始動しますが、塗料を吸い上げません

- 1) 機器が排気されていません
- 2) 容器が空です。
- 3) インレットフィルターが詰まっています。
- 4) インレットまたはアウトレットバルブが固着しています。

- 1) 機器をプライムにセットし、塗料がリターンホースから出てくるまでスイッチをオンにします。
- 2) 容器に再度充填します。機器をプライムにセットし、塗料がリターンホースから出てくるまでスイッチをオンにします。
- 3) インレットフィルターを洗浄します。
- 4) インレットバルブおよびアウトレットバルブを洗浄し、摩耗した部品を交換します。吸気バルブが古い塗料の残留物で詰まっている可能性があります。インレットフィルターのタブを押して外します。
- 5) インレットバルブを交換します。
- 1) スプレー/ノズルを新しいノズルと交換します。
- 2) インレットフィルターを洗浄します。
- 3) 洗浄するか、適切なフィルターに交換します。予備の交換用フィルターは常に用意しておいてください。
- 4) 塗料を希釀するか、ふるいにかけます。
- 5) アウトレットバルブセットを洗浄または交換します。
- 6) インレットバルブを交換します。

C. スプレー機器は塗料を吸い込みますが、引きレバーを引くとすぐに圧力が低下します。

- 1) スプレー/ノズルが磨耗しています。
- 2) インレットフィルターが詰まっています。
- 3) ガンまたはスプレー/ノズルのフィルターが詰まっています。
- 4) 塗料の粘度が高すぎるか粒子が粗すぎます。
- 5) アウトレットバルブセットが汚れているか摩耗しています。
- 6) インレットバルブセットが損傷または摩耗しています。

D. 操作中にスプレー機器のスイッチがオフになりました (インジケーターランプが点滅)

- 1) 機器に過負荷がかかっています / モーターが過熱しています
- 1) 本機のスイッチをオフにし、減圧して冷却させます。それでも問題が解決しない場合は、Wagnerサービスまでお問い合わせください。

E. プライム/スプレーバルブはスプレーに設定されており、作業材料はリターンホースを通って流れます。

- 1) プライム/スプレーバルブが汚れているか、摩耗しています。
- 1) スプレー機器をWagner認定のサービスセンターまでお持ちください。

F. スプレーガンに漏れがあります。

- 1) ガンの内部部品が摩耗または汚れている。
- 1) スプレー/ノズルを洗浄または修理します

G. ノズルホルダーに漏れがあります。

- 1) スプレー/ノズルが正しく組み立てられていません。
- 1) ノズルホルダーを点検し、必要に応じて正しく組み立て直します。

H. スプレーガンからスプレーされません。

- 2) シールが磨耗しています。
- 2) シールを交換します。
- 1) スプレー/ノズルまたはガンフィルターが詰まっています。
- 1) スプレー/ノズルまたはガンフィルターを洗浄します。**スプレー/ノズルの詰まりを除去する**を参照してください。
- 2) スプレー/ノズルがクリーン(洗浄)の位置にあります。
- 2) スプレー/ノズルをスプレーの位置にセットします。
- 3) プライム/スプレースイッチがスプレーの位置に回します。
- 3) プライム/スプレースイッチをスプレーの位置に回します。

I. スプレーパターンに影や筋が見られます。

- 1) ガン、スプレー/ノズルまたは吸気フィルターが詰まっています。
- 1) フィルターを洗浄し、塗料をふるいにかけます。

- 2) スプレー/ノズルが磨耗しています。
- 2) スプレー/ノズルを交換します。

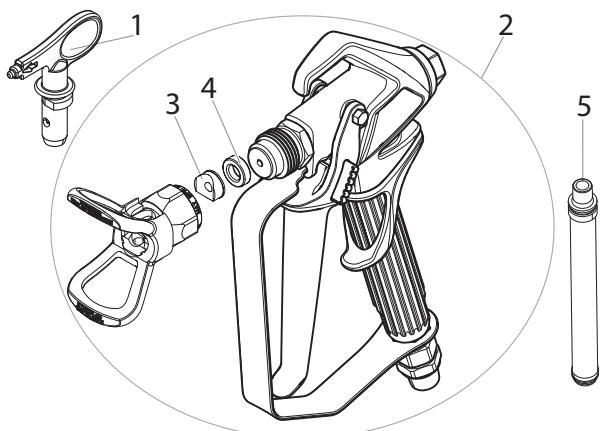
- 3) 塗料の粘度が高すぎます。
- 3) 塗料を希釀します。

- 4) 圧力の低下。
- 4) トラブルCの原因および対処法を参照してください。

J. スプレーの噴射が不均一/脈動しています

- 1) パルセーションダンパーに欠陥があります
- 1) パルセーションダンパーを交換します(メンテナンスの章を参照)

スプレーガン



番号 部品番号 名称

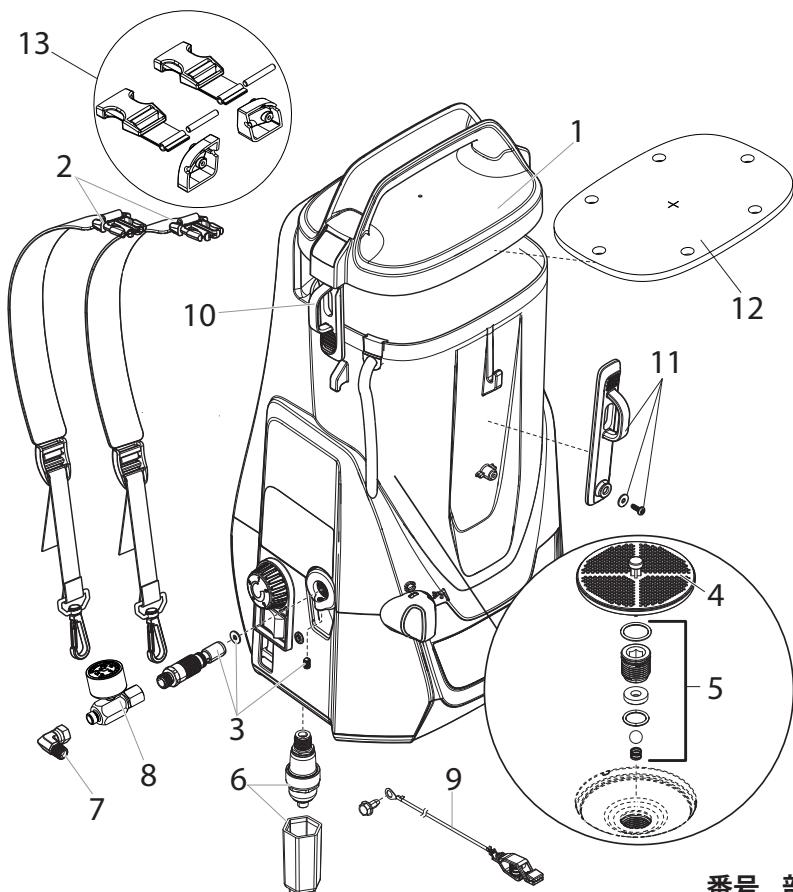
1*	0554515	ノズル HEA 515
2*	2247051	スプレーガン Vector Pro cpl. (4フィンガー、Fネジアダプターを含む)
3*	0297007	ノズルシール
4*	651-020	シール
5*	43235	ガンフィルター中目(黄)

* 消耗部品:保証対象外



Vector Proエアレスガンにはガンフィルター粗目(白)が装着されています。黄色のガンフィルターに交換してください

スプレー機器

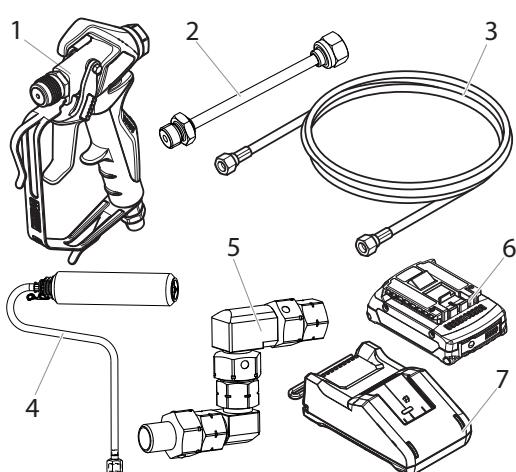


番号 部品番号 名称

1	2463792	容器の蓋
2	2463604	携帯用ストラップ
3*	2467370	アウトレットバルブ
4*	2399 777	インレットフィルター
5*	2399 783	インレットバルブ
6*	2465928	パルセーションダンパーのサービスセット(工具を含む)
7	2467276	アングルピース
8	2467255	圧力計
9	2466094	アースケーブル
10	2477122	止めバンド(左・右)
11	2463215	ホースホルダーバンド
12	2482759	蓋パッキン(3個セット)
13*	2482757	ストラップアタッチメント部

* 消耗部品:保証対象外

アクセサリー(オプション/別売品)



番号 部品番号 名称

1	2247050	スプレーガン Vector Grip (2/4フィンガー) *Vector Proよりさらに高耐久ガン(ガンキャップ、Fネジアダプターを含む/図は付いてない状態)
2	2418853	延長ガンキャップ12.5cm(Gネジ用)
	2418854	延長ガンキャップ25cm(Gネジ用)
	2418855	延長ガンキャップ50cm(Gネジ用)
	2418856	延長ガンキャップ75cm(Gネジ用) ※いずれもチップボディ付、図は付いていない状態
3	9984573	高圧ホース、7.5 m
4	2418370	インナーフィードローラー
5	2454974	フレックスツイストツイストZ
6	2123002	BoschバッテリーProCORE18V 4.0Ah
7	2123003	Bosch充電器GAL18V-40

FINEFINISHノズル

低圧域でも特に高品質な表面を実現するために最適化された特性を備えたトップコートノズルです。



下表のすべてのノズルには、適合するガンフィルターも提供されます。

用途	ノズルマーキング	スプレー角度	ボアインチ / mm	スプレー幅 mm ¹⁾	ガンフィルター	注文番号
水性および溶剤性ラッカー、塗料、オイル、離型剤	208	20°	0.008 / 0.20	120	赤	0554208
	308	30°	0.008 / 0.20	150	赤	0554308
	408	40°	0.008 / 0.20	190	赤	0554408
合成樹脂ラッカー、PVCラッカー、2液ラッカー	210	20°	0.010 / 0.25	120	赤	0554210
	310	30°	0.010 / 0.25	150	赤	0554310
	410	40°	0.010 / 0.25	190	赤	0554410
	510	50°	0.010 / 0.25	225	赤	0554510
プライマー、フィラー	212	20°	0.012 / 0.30	120	赤	0554212
	312	30°	0.012 / 0.30	150	赤	0554312
	412	40°	0.012 / 0.30	190	赤	0554412
	512	50°	0.012 / 0.30	225	赤	0554512
防火塗料 防錆塗料	214	20°	0.014 / 0.36	120	赤	0554214
	314	30°	0.014 / 0.36	150	赤	0554314
	414	40°	0.014 / 0.36	190	赤	0554414
	514	50°	0.014 / 0.36	225	赤	0554514

HEA - 低圧で霧の少ないスプレー用のノズル

HEAはHigh Efficiency Airlessの略で、エアレススプレーに革命をもたらす革新的なノズル技術です。HEAノズルを使うと、スプレー機器の圧力を大幅に下方制御し、低圧範囲で作業することが可能になります(80 - 140 barが理想)。その際、ノズルはすべてのTradeTip 3ノズルホルダーとWAGNER機器で使用できます。

色によっては、最適な結果を得るために希釈が必要な場合があります。Wagner塗料テクニックの専門家が様々な塗料を試験済みです。該当する推奨塗料については、sprayguide.wagner-group.comのワグナースプレーガイドをご覧ください。



下表のすべてのノズルには、適合するガンフィルターも提供されます。

用途	ノズルマーキング	スプレー角度	ボアインチ / mm	スプレー幅 mm ¹⁾	ガンフィルター	注文番号
合成樹脂ラッカー PVCラッカー	211	20°	0.011 / 0.28	120	赤	0554211
	311	30°	0.011 / 0.28	150	赤	0554311
	411	40°	0.011 / 0.28	190	赤	0554411
ラッカー、アンダーコート ベースコート、フィラー	213	20°	0.013 / 0.33	120	赤	0554213
	313	30°	0.013 / 0.33	150	赤	0554313
	413	40°	0.013 / 0.33	190	赤	0554413
フィラー 防錆塗料	415	40°	0.015 / 0.38	190	黄色	0554415
	515	50°	0.015 / 0.38	225	黄色	0554515
	615	60°	0.015 / 0.38	270	黄色	0554615
防錆塗料 ラテックスカラー 分散液	417	40°	0.017 / 0.43	190	ホワイト	0554417
	517	50°	0.017 / 0.43	225	ホワイト	0554517
	617	60°	0.017 / 0.43	270	ホワイト	0554617

1)スプレー対象物から約30 cmの距離でのスプレー幅、合成樹脂塗料20 DIN秒で圧力100 bar (10 MPa)。

廃棄に関する注意事項

 アクセサリーおよび梱包材を含む本機は、耐用年数が終了した時点で環境に優しい方法でリサイクルする必要があります。梱包材は種類ごとに分別し、リサイクル回収に出してください。古い機器および充電式バッテリー/電池は、家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。環境保護のため、本機およびバッテリーはお近くの廃棄センターへお持ちいただか、当社カスタマーサービスまでご連絡いただか、専門販売店までお問い合わせください。

機器の点検

安全上の理由から、必要に応じた頻度で、ただし少なくとも12か月おきに、専門家に本機の点検を依頼し、引き続き正常に動作することを確認してください。

機器を使用していない場合は、点検を次回の使用開始時まで延期することができます。

さらに、その国の(異なる可能性がある)点検規定およびメンテナンス規定にも従ってください。

点検、メンテナンスに関して不明な点がある場合は、WAGNER のサービスまでご連絡ください。

製造物責任に関する重要事項

1990年1月1日に発効したEU規制に従い、メーカーは、すべての部品がメーカー製であるか、メーカーによって認可されたものであり、機器の組立と操作が正しく行われた場合のみ、製造物に対し責任を負います。他社製の付属品および交換部品を使用した場合、製造物責任の一部または全部が無効になります。極端なケースでは、管轄当局(同業組合および営業監督庁)によって機器全体の使用が禁止されることもあります。WAGNER製の付属品および交換部品を使用しないと、安全規定を満たすことができません。

保証規定

日本ワグナー・スプレー・テック株式会社(以下「日本ワグナー」)は、本製品の材質上および製造上の欠陥により、正常な使用状態および使用後の完全な洗浄状態にもかかわらず、故障が生じた場合は、以下の保証規定に従い保証いたします。

1. 保証書に表記している保証期間内に、お客様に次の手続きをとっていただくことを条件として、無償で故障品を修理いたします。

- (1) お買い上げの販売店に、お買い上げを証明する書面(レシート、納品書等)と保証書を提示すること
 - (2) 故障品を、保証書とともに販売店が指定する宛先に返送すること
2. 本保証は、日本ワグナーが不具合の原因が次の場合であると判断したときには適用されませんのでご了承ください。
- (1) 取扱説明書に記載の使用方法、注意事項に従わない使用がなされた場合
 - (2) 日本ワグナーまたは日本ワグナーが認めたサービス代理店以外の第三者により不当な修理、調整、改造がなされた場合
 - (3) 消耗部品の摩耗による故障、および消耗部品の交換
 - (4) 不充分な洗浄およびメンテナンスによる故障、損傷
 - (5) お客様による輸送、移動時の落下、転倒、衝撃等による故障、損傷
 - (6) 地震、火災、落雷、洪水等の自然災害、その他の外部要因によって生じた故障、損傷

保証書

WAGNER		保証期間 1年間	
機種	SprayPack 18V	本体No.	
フリガナ			
貴(社)名			
ご住所			
お電話		納品書No.	
※販売店	店名・住所・電話 ※販売店の印鑑がない場合は、購入時の納品書を貼り付けてください。		

日本ワグナー・スプレー・テック
〒574-0057
大阪府大東市新田西町2-35

TEL:072-874-3561
FAX:072-874-3426
www.wagner-group.com

仕様・部品番号は予告なく変更することがありますので、
あらかじめご了承ください。